

『待機的心臓手術における術前栄養不良が  
術後感染症発症に及ぼす影響』  
に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	手術前の栄養不良が心疾患患者さんの手術後の感染症発症に影響があるのか検討します。
研究の方法	身体計測情報、血液検査情報、手術に関わる情報、手術後の栄養補給情報等を電子カルテに記載されている情報を基に研究を行います。
対象者	西暦2020年4月1日～2023年12月31日の間に、患者支援センターを受診した心疾患手術をされた方
利用する試料/情報	情報等：年齢、性別、血液検査情報、身体計測情報、手術に関わる情報等
利用する試料/情報の取得方法	診療録の情報
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	【当院単独研究】 済生会横浜市東部病院 大沢優也(研究代表者)
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年3月1日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 栄養部/管理栄養士/大沢優也
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 栄養部/大沢優也